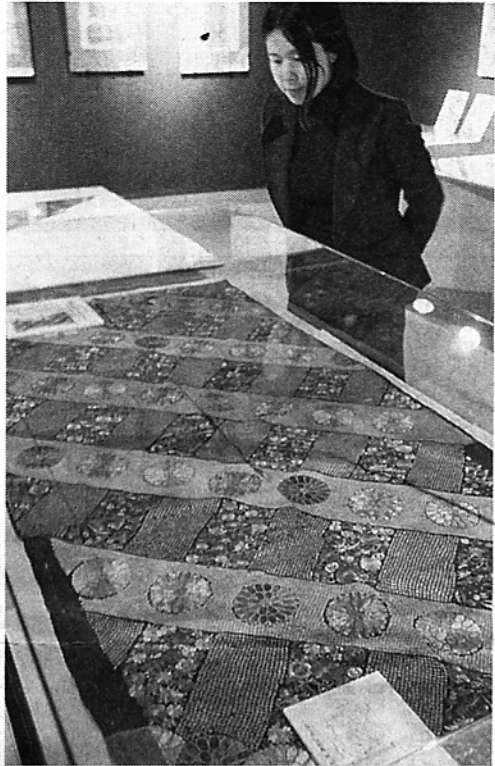


きらびやかな小袖や手描き友禅…

# 古代—近代の染織ずらり

工織大資料館企画 見本など100点超



匹田絞りに菊などを刺しゅうした小袖裂地など貴重な染織「コレクション」を紹介する企画展「裂地を辿る」(京都市左京区・京都工芸繊維大美術工芸資料館)

左京

京都工芸繊維  
大美術工芸資料

館(京都市左京区)で、  
館が所蔵する国内有数の染織コレクションを

紹介する企画展「裂地を辿る」が開かれています。古代から近代まで百点を超える染織資料や見本などを初めて一堂に並べた。

近世日本のフロアで

は、後水尾天皇の中宮

東福門院和子のもと

伝えられ、匹田絞りに

菊や松竹梅鶴亀などの

文様を金糸、白糸で刺

しゅうしたきらびやかな小袖の裂地(江戸時

代前期)を始め、日本

で独自に発展した織物

や染色、刺しゅうの手法を駆使した感性豊かな品々を紹介する。

他のフロアでは、多

様な表現の手描き友禅

の見本「友禅染標本帖」

(江戸末期から明治初

期)や、勝海舟が集めた「古代裁手鑑」(十

六—十八世紀前半、中

国・インド・日本)な

どが展示されている。

五月三十一日まで

(五月三日をのぞく日

祝日休館)。二百円。

五月三日午後一時半か

ら会場でギャラリート

ークがある。

(稲庭篤)